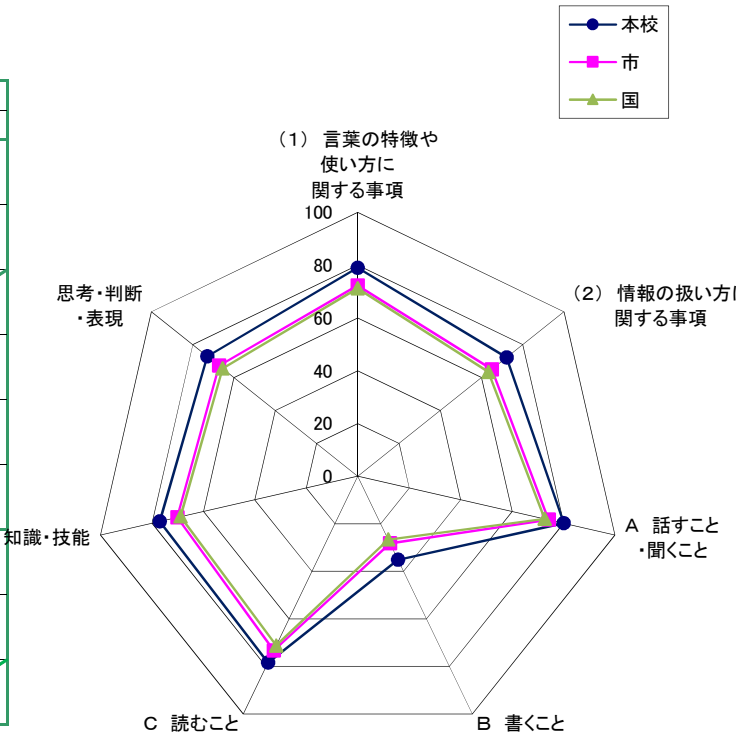


宇都宮市立城東小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | (1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 79.0 | 72.3 | 71.2 |
|     | (2) 情報の扱い方にに関する事項    | 72.1 | 65.0 | 63.4 |
|     | (3) 我が国の言語文化に関する事項   |      |      |      |
|     | A 話すこと・聞くこと          | 80.1 | 74.2 | 72.6 |
|     | B 書くこと               | 35.1 | 28.2 | 26.7 |
|     | C 読むこと               | 78.4 | 73.3 | 71.2 |
| 観点  | 知識・技能                | 77.0 | 70.2 | 68.9 |
|     | 思考・判断・表現             | 72.9 | 67.2 | 65.5 |
|     | 主体的に学習に取り組む態度        |      |      |      |



★指導の工夫と改善

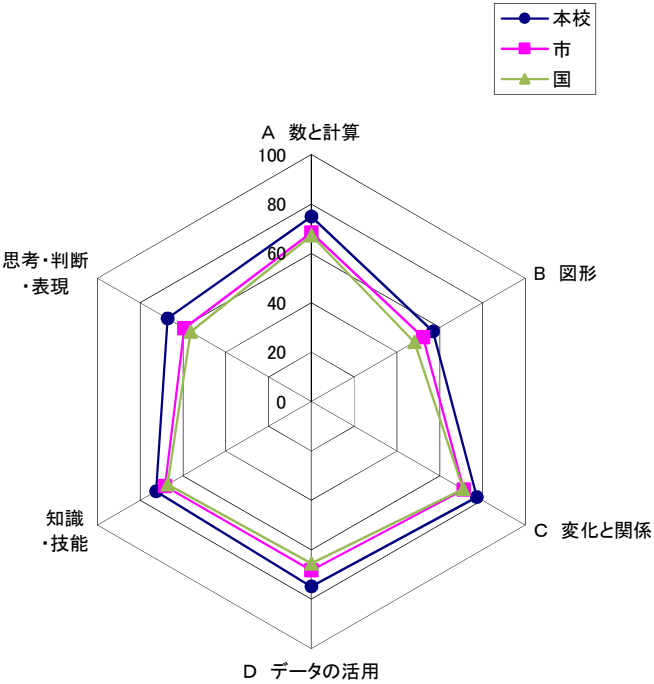
| 分類・区分                | 本年度の状況                                                                                                             | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 言語の特徴や使い方にに関する事項 | ○「言葉の特徴や使い方にに関する事項」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○「学年別配当漢字に示されている漢字を文の中で正しく使う」設問では、全国平均正答率を11.8ポイントと大きく上回っている。       | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・今後も漢字検定などで、定期的に既習事項の漢字の到達度を確認していく。<br>・漢字の意味を理解して覚え、単に書く練習をさせるだけでなく、文の中に当てはめて練習させ、使い方が分かるようにしていく。また、習った漢字は国語以外の学習の中でも積極的に使うように言葉を掛け、定着を図る。 |
| (2) 情報の扱い方にに関する事項    | ○「情報の扱い方にに関する事項」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解使う」設問では、全国平均正答率を10.7ポイント上回っている。 | ・文章だけでなく、図や表などからも情報と情報の関係を読み取ることができるよう国語だけでなく、社会科や理科の授業などでも読み取る機会を増やしていく。                                                                                               |
| A 話すこと・聞くこと          | ○「話すこと・聞くこと」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」設問では、全国平均正答率を6.4ポイント上回っている。    | ・話し合いをもとに、自分の考えを根拠を述べながら示す力を伸ばすために、授業や学級活動において相手の考えに対する自分の考えを、書いたり話したりする活動を取り入れる。                                                                                       |
| B 書くこと               | ○「書くこと」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>●「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」設問では、全国や市の平均正答率を上回っているが、35.1%と低い。         | ・自分の考えが明確に伝わる文章を書けるようにするために、作文の際に文の構成や書き表し方に着目する活動を取り入れる。<br>・今後も日常生活の中で文章を書く機会を増やしたり、授業の中で文章を書く機会を多く取り入れたりして、習慣化を図り、スキルの向上を目指していく。                                     |
| C 読むこと               | ○「読むこと」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける」設問では、全国平均正答率を11.8ポイント上回っている。               | ・読書経験を豊富にすることで、今後も文章に触れる機会を増やし、読解力の向上につなげていく。<br>・文章中から必要な情報を見付けたり、要約したりする機会を増やし、文章の要旨を的確に捉えられるようにする。                                                                   |

宇都宮市立城東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

| 分類 | 区分            | 本年度  |      |      |
|----|---------------|------|------|------|
|    |               | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | A 数と計算        | 74.9 | 68.4 | 67.3 |
|    | B 図形          | 56.8 | 52.2 | 48.2 |
|    | C 測定          |      |      |      |
|    | D 変化と関係       | 77.3 | 71.2 | 70.9 |
|    | E データの活用      | 74.9 | 68.3 | 65.5 |
| 観点 | 知識・技能         | 72.6 | 68.4 | 67.2 |
|    | 思考・判断・表現      | 67.3 | 59.4 | 56.5 |
|    | 主体的に学習に取り組む態度 |      |      |      |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分    | 本年度の状況                                                                                                                                                                                       | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                   |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A 数と計算   | ○「数と計算」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する設問では、全国平均正答率を13.4ポイント上回っている。<br>○式を問題文の場面と関連付けて読み取る設問では、全国平均正答率を10.2ポイント上回っている。                                | ・計算技能の定着がみられるので、引き続き計算検定などを活用しながら計算練習を繰り返し、より正確な計算技能が身に付くよう指導していく。<br>・立式した理由を問う発問を授業に取り入れ、式と場面を関連付けて考える力を養う。                                                              |
| B 図形     | ○「図形」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○高さの等しい三角形の面積の大小を判断して理由を記述する設問では、全国平均正答率を19.5ポイント上回っている。<br>○台形の意味や性質を理解しているかどうかをみる設問では、全国平均正答率を14.2ポイント上回っている。                                             | ・図形の問題では、普段の学習の成果が見られた。今後も引き続き、辺や角など図形を構成する要素に着目し、必要な情報を書き込み、問題を解かせる指導を行っていく。                                                                                              |
| C 変化と関係  | ○「変化と関係」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる設問では、全国平均正答率を7.6ポイント上回っている。<br>○百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる設問では、全国平均正答率を13.7ポイント上回っている。  | ・伴って変わる二つの数量の関係を考える際に、比べられる量ともとにする量はどの数値に当たるかを検討したり、数値の変化を表にまとめて変化の仕方を考えたりする場面を多く取り入れ、さらなる習熟を図りたい。<br>・割合を百分率や分数、小数で表す際に、「10%は0.1」など簡単な数値を例示し、数値がどのように変化するかを考える場面を取り入れていく。 |
| D データの活用 | ○「データの活用」の正答率は、全国や市の平均正答率を上回っている。<br>○「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる設問では、全国平均正答率を10ポイント上回っている。<br>○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する設問では、全国平均正答率を12.6ポイント上回っている。 | ・「データの活用」では、定着が見られた。今後も、データから必要な情報や数を選び、計算し答えを求める問題に取り組むことで、さらなる習熟を図りたい。<br>・必要な情報を整理し、言葉と数を用いて記述する問題に取り組ませることで、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。                                       |

宇都宮市立城東小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に肯定的回答をした児童の割合は、全国の平均を7.8ポイント上回っている。教師と児童の良好な関係が築けていることが伺える。今後も学校生活全体を通して教師と児童の良好な関係づくりに努めたい。

○「友達関係に満足していますか」に肯定的回答をした児童の割合は、全国の平均を7.3ポイント上回っており、良好な友達関係が伺える。今後も良好な友達関係が継続されるよう、児童理解とともに児童指導に当たっていく。

○「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に肯定的回答をした児童の割合は、全国の平均を9.3ポイント上回っている。児童は悩みを一人で抱え込まずに、相談できる大人が身近にすることが伺える。学校として、全教職員が普段から児童とのコミュニケーションを積極的に図り、担任以外にも話し掛けやすいような環境づくりに努めていきたい。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的回答をした児童の割合は、全国の平均を6ポイント上回っている。今後も学校生活全体を通して児童を学習面・生活面で支え、児童が安心して楽しく過ごせる学校にしていきたい。

●「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的回答をした児童の割合は、全国の平均を14.6ポイント下回っている。今後も今住んでいる地域のよさを体験的な活動などを通して児童に伝え、児童自身が地域の一員であることを自覚させるとともに、積極的に地域の行事に参加しようとする意欲や態度を育みたい。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」に肯定的回答をした児童の割合は、全国の平均を8ポイント上回っている。学級内で互いの存在を認め合えるような雰囲気ができていることが伺える。今後も児童同士が互いの人格や意見を尊重できるような関係づくりに努めていきたい。

○「解答時間は十分でしたか」に肯定的回答をした児童の割合は、国語と算数ともに全国の平均を上回っている。特に算数では、全国の平均を6.5ポイント上回っていた。今後も、時間内に問題を解き切る素早い思考力を育てるとともに、解き切るだけでなく見直しまでできる力を身に付けさせたい。

宇都宮市立城東小学校（第6学年）  
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                               | 取組の具体的な内容                                                                                                                                                                      | 取組に関わる調査結果                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基礎的・基本的な知識・技能の定着                     | 本校では、「校内漢字・計算検定」を年間10回実施したり、市のステップアップシート(ミヤリーテスト)を活用したりして、基礎基本の定着に努めている。また、朝の学習(パワーアップタイム)を各学級ごとに計画的に実施し、プリントやドリル学習を行っている。                                                     | 国語では、「言語の特徴や使い方に関する事項」の正答率は、全ての設問で全国や県、市の平均正答率を上回っているが、日常よく使われる敬語を理解しているかをみる設問においては、無回答率が高く、課題が見られる。<br>算数では、「知識・技能」の観点で、ほぼ全国や県、市の平均正答率を上回っている。特に、台形の意味や性質ついて理解しているかをみる設問において、全国や県、市の平均正答率を14.2ポイントと大きく上回っていた。「数と計算」の正答率は、ほぼ全国や、市の平均正答率を上回っている。 |
| ノート指導の充実                             | 校内ノートコンクールを年2回実施している。低・中・高学年、それぞれの発達段階に応じて明確な目標を設定し、学校全体で分かりやすいノートづくりの指導を行っている。自分や友達の考えをノートにまとめるとききまりやマークを校内で統一している。模範となるノートを展示し、同学年、他学年のノートを見ることで、児童がよりよいノートづくりを意識できるようにしている。 | 国語の「書くこと」の領域では、全国や県、市の平均正答率を上回っているが、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して記述する設問では、35.1%と正答率が低く、課題が見られる。                                                                                                                                           |
| 児童が学ぶ楽しさを味わい、進んで考える授業づくり・学びの「城東スタイル」 | 本校では、学びの『城東スタイル』を掲げ、学校全体で共通理解のもと、児童が学ぶ楽しさを感じながら、思考力・判断力・表現力を発揮して主体的に学習活動に取り組めるような授業づくりを目指している。めあてを明確に示し、見通しをもって自ら課題に取り組んだり、友達と学び合ったりできるような学習環境づくりに努めている。                       | 本校では、国語、算数ともに、全ての領域・観点において、全国や県、市の平均正答率を上回っている。<br>質問紙では、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童は、全国や県の肯定的割合を上回っている。                                                                                                             |

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

| 調査結果等に見られた課題                                                                                                                                                                                                                  | 重点的な取組                                  | 取組の具体的な内容                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>国語では、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して記述する設問では、全国や県、市の平均正答率を8ポイント程度上回っているが、35.1%と正答率が低く、課題が見られる。</p> <p>算数では、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する設問では、全国や県の正答率を10ポイント以上上回っているが、40.3%と正答率が低く、課題が見られる。</p> | <p>自分の考えを図や文章で表現し、他者に分かりやすく伝える力の育成。</p> | <p>各教科等でめあてやねらいを明確にし、児童が自分の考えを表現したり、互いに考えを伝え合ったりする活動が充実するような授業づくりを目指す。</p> <p>また、授業のまとめや振り返りにおいて、学習したことを考えさせ、目的を意識した文章を書くように指導していく。</p> |